

週報



国際ロータリー
第2560地区

2006～2007 年度
2006年9月11日 第1801回 本年度第9回

SanjoMinamiRotaryClub

2006～07年度 クラブ会報特別企画

【出席率】 会員62名中42名

【先々週の出席率】 92.98%

【ヴィジター】 三条東RCより 本多昭一君
三条RCより 加藤紋次郎君

【先週のメイクアップ】

9/9 柏崎東RC創立40周年記念式典へ
馬場一敏君 長谷川晴生君 坂本洋司君
9/9～11 ライラ研修セミナー(巻)へ 若井 博君



あの人 あの時
滝口 恵介 君

会長挨拶

馬場 一敏 会長



挨拶を致します。

- 9月4日の例会後、三条市福祉センターにおきまして平成18年度の新潟県共同募金会三条市支会の会合があり、南ロータリーの会長として出席して参りました。今年の街頭募金は、10月1日(日)11:30～12:30ジャスコ三条店前、パルコ前で行なうことになりましたので、ご協力お願い致します。
- 9月6日午後6時からロイヤルホテルにおいて、レーナさんの歓迎会を開催致しました。三条東高校の教職員、校長他2名、クラスメート3名、及びホストファミリーの皆さん等、総勢34名の賑やかな歓迎会でした。長谷川会員の計らいで、演奏付のパーティとなり、レーナさんも感激しておりました。
- 9月8日は午後7時～9時まで、三条市観光課主催の「三条市観光基本計画策定」のための関係団体等懇談会の案内を受け、参加して参りました。平成19年～26年に向け、観光振興の基本計画を三条市が策定するための参考にするとのこと。下田村、栄町との合併によって、旧下田村の観光資源を三条市として活用し、観光収入に結びつけたいとの市長の方針だということです。

国際ロータリークラブ会長
第2560地区ガバナー
第4分区アシスタントガバナー
会長 馬場 一敏
三条南ロータリー事務局

ウィリアム ビル ボイド [ニュージーランド]
中 條 耕 二 [三条北]
桑 原 寛 治 [加 茂]
幹 事 田 代 徳 太 郎 SAA 広 岡 豊 樹
〒 955-8666 三条市旭町2-5-10
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp URL http://www.sanjo-minami.jp

三条信用金庫内

基本理念は「地区ぐるみのリピーター創出型観光」とのことです。「三条市全てのものを素材とし、リピーターを受入れ増やす仕組みを作る。」

総論は理解できますが、携わる人はボランティアではなく独立採算ができる事業として継続できるもの、特にその仕事をする人材を発掘することが一番大事だと思います。行政の都合で一時補助金で釣っても永続しないと考えます。本当に「やる意思と能力」のある人を探すことが計画の中心だと思います。

4. 昨日は、柏崎東 RC 創立記念40周年記念式典に長谷川晴生さん、坂本次年度会長からご一緒いただき、3名で参加して参りました。総出席者は200名弱でした。

プログラムの内容も簡素なものでした。記念事業として、県立柏崎総合高校インターアクト吹奏楽部に100万円相当の楽器を寄付したとのことでした。その楽器を使つての演奏を聞かせていただきました。

二部の祝賀パーティも盛大でしたが、正味1時間位で、開宴の挨拶が長く、閉宴が早く、ゆっくりできる状態ではありませんでした。午後2時20分頃には終了し、4時前に三条に帰りました。参加してみて、式典も祝賀会も簡素で型どおりと感じました。

幹事報告

田代 徳太郎 幹事

●三条東 RC より 認証状伝達式 出席お礼 (8/26 於:VIP 29名出席)

●加茂 RC より 第4分区 IM 出席お礼 (9/ 2 於:加茂市産業会館 22名出席)



～ 9月 4日 ¥25,000 今年度累計 ¥202,000 ～

三条東RC・本多君

1. 認証状伝達式には皆様方大変お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。東RCではゴルフ担当ですのでコンペ開催にはよろしく申し上げます。
2. 9/6～7車屋の山梨ブロック大会後、富士ゴルフコースでコンペ、17ホールで480ヤード打ち降しで、350ヤード残り、130ヤードツーオンで今年初めて350ヤード飛び、それを記念しまして！

馬場(一)君

1. 吉田会員、卓話ご苦労様です。
2. 水害義捐金分のご協力も宜しく申し上げます。

田代君

本日の卓話楽しみにしています。水害へのご協力お願いします。

吉田(秀)君

久しぶりの卓話当番です。ツタナイ話にお付き合い下さい。

相田君、草野君、鈴木(囿)君、滝口君、西巻君、野崎君、船久保君、武藤君、渡邊(光)君

吉田さん、卓話ご苦労さまです。楽しみにしております。

坪井君

朝、晩涼くなりました。吉田さん卓話ご苦労様です。楽しみにしています。

田中(久)君

先週は久しぶりに会員の皆さんとお逢いできてホット致しました。これからは健康に留意していきたいと思います。

蕪澤君

昨日、古希を家族で祝ってもらいました。また、先週は会からお祝いを戴きました。元気で楽しく前向きにいきたいと思います。

丸山(徹)君

築90年程の我家を14日に取り壊します。新装開店は4月の予定です。

坂井君

仕事に足の筋が切れたのでピッコを引いています。

飯山君、岡村君、銅冶君、野中君

BOXに協力致します。

鈴木(武)君

久しぶりのBOX担当です。ご協力有難うございました。

「免許更新と昔の世相」

吉田 秀治 会員



私は8月14日生まれですので、先月20数回目の「自動車の運転免許更新」で新しい免許証を貰いました。

私と自動車の拘わりについて昔の世相をお話してみます。

昭和11年に日産自動車は小型車『ダットサン』を開発、発売しましたが、田舎(長岡)に現車が現れたのは、翌12年「満州事変」の起こった年です。

価格は2~3千円、普通の貸家が百円で建ったことからして、機械ものは高価だったのでしょう。それでもアメリカ製新車(大型)が1万円以上したのですからお金持ちには買えたのでしょう。

エンジンの排気量750CC これは小型車の規格が750だったからで、小型車はすべてダットサンの愛称で呼ばれていましたが、『オオタ号』という小型車が有りましたが、オオタ号を

知っている人は少ないと思います。

もう一つの特徴は、アクセルペダルがクラッチペダルとブレーキペダルの間に有ったのです。どうしてこんなややこしいペダル配置にしたのか、多分免許証交付の関係が有ったのだと思います。もう一つ現在倍圧装置付オイルブレーキやディスクブレーキは当たり前ですが、この頃のダットサンはブレーキロットでコロを起こしてブレーキシューをドラムに押し当てる方式でブレーキの効きも、今では考えられないものでした。

昭和12年廬溝橋事件から「満州事変」帝国陸軍は中国(当時は支那)へ進攻を始めた頃、自動車の運転ができる人は極めて稀だったので、急速に普及する必要があったのでしょう、ダットサンの運転免許は、まる二日間教習場で実技と学科の講習を受ければ小型車の免許が貰えたのです。

私は、動くものが大好きでしたので、小学校の頃からオートバイや自動車の教則本を見て、運転の順序は承知しておりました。

旧制中学で『グライダー』(当時は滑空機と言わせられた)をやっていて、東京玉川の「読売新聞飛行場」の練習でグライダーを曳航したり、発航地点へ移動させるための自動車が幾台もあって休憩時間に時々いじらせて貰っていました。現在の空港では自動車の通路は喧しく規制されていますが、当時の飛行場は滑走路以外舗装された所もなく、自動車の練習は気ままに出来ました。

『機甲訓練所』

18年春に海軍司令長官『山本五十六』が戦死して敗戦の兆候が濃くなる中、19年初夏の頃学校の授業は無くなり学徒動員で工場での生産活動に振り分けられました。私は「北越電化」(現在の北越メタル)でのカーバイトの原料を電気炉に投げ込むきつい仕事や電気炉から大きな鍋に受けた出来立ての熱いカーバイトをポンコツでたたき割る、どちらもつらい仕事をして居ましたが、19年夏陸軍が本土決戦に備えて急遽作った「機甲訓練所」へ派遣されました。

この訓練所は柏崎の工業学校に間借り、中古トラック多数・小型戦車・36年製フォード V8等があり、いすずのジーゼル・東京電気〇〇等が有りましたが日産・トヨタはありませんでした。多分新車は戦場へ送っていたのですが、この頃の日産トラックはサイドバルブでした。さすが「V8」は他のエンジンのようなぶるぶると言う音ではなく、スー・シューと言う音で、技術の違いが音に出ていました。

この「機甲訓練所」は各中学校から10名ずつ集められたズブの素人40名を3週間で、エンジン・ミッション・デフを含むシャシーの分解・組立て、各部の名称・部品の名前・向きは勿論、パッキン・ガスケットの製作、そして運転は競馬場の馬の走るコースを走れるようにするというすごいものでした。私は40人の一員として派遣されましたが、隊長をさせられたのです。

当時配給米一日二合を持参したのですが、その米は何処かへどうなったのか、大豆がバラバラにならない程度米を混ぜた大豆が朝食と昼食に軽く茶碗一杯、副食は無く、薄い塩味 夕食は蒸したカボチャに食塩少々だけ、要するに空腹にさせて、覚えなければ叩く教育で、理に適った教育方針か知れないが、育ち盛りの若者にはきつい訓練でもありました。私は、部品の名前を英語名で答えて度々叱られ、黒く汚れた「洗い油」を掛けられたこともありました。

この訓練を受けたことで、19年12月に無試験で自動車免許を貰いました。この時免許を小型免許にしました。当時小型免許は2輪・3輪・4輪共通で、一つの免許で何れにも乗れ、逆に普通免許を持っていても小型4輪は乗れても、オート3輪に乗るためには別の小型免許が必要でした。終戦後の22年に主として運転する車種を申告させられて、小型何輪・何輪と別々の免許証を持つようになったのです。また、有効期間は5年で、5年毎の更新でよかったのが、3年になり、2年という時もあった様に記憶しています。

現在使っている免許は27年の暮れに、勤めを辞めて実家に入ることが決まった時に取り直したもので、大型二種と大型二輪が付いています。今回の更新では、白内障が進み、モノの形は分かりませんが、ピンボケ状態で輪郭がはっきりせず、二種の更新が出来なければ運転を止めようかと思っていましたが、免許センターの女性職員が親切に、少し休んでもう一度検査しましょうと、合格しました。

次回3年後は82歳、今回が最後と思い車を乗り換えたくなり、家内に相談して許可が出ましたので、レクサス GS450 ハイブリットを契約しました。

もう一つエンジンのお話を

今から10年前の2月に「8月になると満70歳になる」からと思い立ち、オーストラリアのエアーズロック341mへ登りに行った帰り、ケアンズの国際空港で1930年製タイガーマスを見つけました。私が3歳の時に出来た古い飛行機で、少年時代ゴム動力のスケールモデルを作ったこともある懐かしい機体、眺めているとオーナーらしき人が話しかけてきてくれ、英語は分からないが「トライ」だけ分かりました。前席に座り乗せて貰い、滑走路に出ないでエプロンをカタコト動くともう離陸していました。

このエンジン空冷直立四気筒を倒立に積んでいます。排気量は3千cc位、回転千rpm台で速く回せないから、長いプロペラをゆっくり回す。帰着するとエキゾーストから潤滑油が垂れるから、大きなオイルパンをエンジンの下に入れ、翼は木製、胴体はクロモリパイプ。流石にマニヤの持ち物はよく整備されています。セルモーター無し起動はペラを回す。

10月のお祝い

会員誕生

2日... 長谷川晴生君

24日... 丸山征夫君

28日... 丸山徹夫君

夫人誕生

11日... 田中杏子(正佐久)さん

11日... 谷 ひさ子(晴夫)さん

13日... 長谷川裕子(晴生)さん

14日... 熊倉豊子(高志)さん

19日... 野中恵美子(悟)さん

20日... 大溪明子(秀夫)さん

結婚記念

3日... 齋藤嘉一君・千代子さん

3日... 吉井正孝君・敏子さん

6日... 馬場信彦君・淑子さん

7日... 鈴木 武君・マサ子さん

7日... 田中悌司君・秀幸さん

8日... 野崎正明君・裕子さん

11日... 石山荘一君・敏江さん

12日... 田中正佐久君・杏子さん

13日... 丸山征夫君・千代子さん

13日... 若井 博君・敏子さん

19日... 大原義弘君・真知子さん

20日... 銅冶康之君・なをみさん

21日... 西巻克郎君・富紗さん

24日... 荒澤威彦君・政子さん

28日... 田代徳太郎君・恵美子さん

* * * おめでとうございます。 * * *

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか